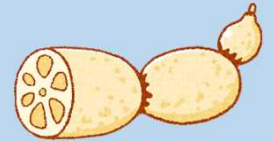


# レンコン田における野鳥被害防止対策



レンコン田における野鳥被害防止対策では、被害の状況に応じて、以下に示したような対策を選択し、複数の方法を組み合わせて実施することが効果的です。

## 直置き網

- 防鳥効果が高い
- 収穫時の手間増

収穫前のみ田面近い高さに網を張り、収穫後は撤去。



直置き網（べたがけ）



支柱ありの直置き網



## 立体式防鳥網

- 防鳥効果が高い
- 費用が高価
- 効果の維持、野鳥保護の観点からこまめな管理作業が必要

野鳥の飛来が多いほ場や大きな被害を受けるほ場に優先的に設置。  
適正な管理が必要。



### 立体式防鳥網の適正な管理

- ★野鳥が中に入らないよう、出入りする時以外は、防鳥網のサイドネットを確実に閉じましょう。
- ★ゆるんだ網や、サイドネットがポケット状になっていると野鳥が絡まりやすいため、ピンと張るようにしましょう。
- ★収穫後は、取り外すか、サイドネットを確実に閉じましょう。
- ★万が一、野鳥が絡まってしまった場合は、速やかに放鳥してください。

## 浅水管理

- 費用が掛からない
- 霜害等のリスクあり

《ポイント》  
浅すぎると霜害等の恐れがあり注意が必要。  
水深5cm、田面を均平に。

## 早掘り

- 費用が掛からない
- 出荷時期の制限

《ポイント》  
野鳥の飛来が少ない10月より前に収穫することで、被害を受けにくくなる。

## 人による見回り

- 忌避効果が高い
- 一定の労力が必要

《ポイント》  
①ライト等を持った見回りは、継続すると効果的。  
②労力軽減のため、複数人で分担・協力するなどの工夫を。

## 音、忌避具による追い払い

- 他の方法より管理が安易
- 慣れると効果低下

《ポイント》  
爆音機、かかしなどの忌避具は、被害がある時期に限り使用し、使用後は撤去。